

事務事業の概要

1	事務事業名	河川維持補修事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	5	河川環境の整備と維持				
		今後の取組	1	河川の維持管理				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	河川維持補修事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度

事務事業の実施

8	対象						
9	事業の目的	準用河川の適切な維持管理を図り、市民が安全で安心して暮らせる河川環境を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		準用河川等の機能の維持や安全対策のために、今後も継続する必要がある。					
11	事業の内容(手法)	準用河川や雨水貯留施設の機能の維持や安全対策が必要とされているため、堆積土砂の浚渫や除草、または防護柵の設置等適切な維持管理を図る。					
		平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする ものに限る)					
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 進捗率(整備件数/要整備件数)	100	100	100	100	
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳入(b)	歳出(直接事業費)(a)	9,568	9,568	9,568	9,568	
		受益者負担額					
		国県補助金等その他					
(a) - (b) = 一般財源		9,568	9,568	9,568	9,568		
14	増額理由	継続事業					

備 考

事務事業の概要								
1	事務事業名	河川改良事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	5	河川環境の整備と維持				
		今後の取組	1	河川の維持管理				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	河川改良事業費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象							
9	事業の目的	河川の管理堤を整備し、市民の安全で、かつ安心して暮らせる河川環境を目指す。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		事業の目的を達成するため、事業を継続する必要がある。						
11	事業の内容(手法)	準用河川の管理道を計画的に舗装整備する。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 進捗率(整備件数/要整備件数)	100	100	100	100		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳入(b)	歳出(直接事業費)(a)	3,184	5,937	4,016	4,016		
		受益者負担額						
		国県補助金等その他						
(a) - (b) = 一般財源		3,184	5,937	4,016	4,016			
14	増額理由	継続事業						
備 考								

事務事業の概要							
1	事務事業名	公共下水道事業					
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明	
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち			
		施策	5	河川環境の整備と維持			
		今後の取組	2	排水路の整備			
4	総合戦略の位置づけ	基本目標					
		基本的方向					
5	行革大綱の位置づけ	重点項目					
		項目					
		改革名					
6	予算事業名	-					
7	事業開始年度	昭和 42 年度	事業終了年度	平成 一 年度			
事務事業の実施							
8	対象						
9	事業の目的	公共下水道（雨水）事業認可区域内の浸水被害を解消し、市民が安全で安心して暮らせる生活環境を目指す。					
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する
		近年の気候変動による集中豪雨や都市化に伴う雨水排出量の増加により、緊急的な災害対応等が見込まれるため、従事者の増員や予算の確保が必要となる。また、事業の目的を早期に達成するため、継続して重点的な整備を行う必要がある。					
11	事業の内容(手法)	公共下水道（雨水）事業認可区域内の浸水被害を解消するため、概ね10年に1回の大雨に対応できる水路改良を行う。					
		平成30年度からの拡充・変更内容（予算措置を必要とするものに限る）					
12	指標の推移	名称（単位）	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)	
	成果指標						
	活動指標	① 公共下水道（雨水）計画区域整備率	0,864	0,866	0,868	0,87	
13	コストの推移（単位：千円）		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	
	歳出（直接事業費）(a)		57,885	25,020	42,020	42,020	
	歳入 (b)	受益者負担額					
		国県補助金等その他	57,800	8,500	15,000	15,000	
	(a) - (b) = 一般財源		85	16,520	27,020	27,020	
14	増額理由	継続事業					
備 考							
活動指標①については、平成26年度に認可変更に伴い整備状況を詳細に調査、集計した結果、整備面積が増加しましたので、整備率を修正しました。							

事務事業の概要								
1	事務事業名	排水路整備事業						
2	担当部名	まちづくり部	担当課名	道路河川課	課長名	西村 明		
3	総合計画の位置づけ	目指す都市像	7	快適な生活を育むまち				
		施策	5	河川環境の整備と維持				
		今後の取組	2	排水路の整備				
4	総合戦略の位置づけ	基本目標						
		基本的方向						
5	行革大綱の位置づけ	重点項目						
		項目						
		改革名						
6	予算事業名	下排水路管理費						
7	事業開始年度	平成	—	年度	事業終了年度	平成	—	年度
事務事業の実施								
8	対象							
9	事業の目的	排水路の整備・改修により、市民が安全で、かつ安心して暮らせる生活環境を目指す。						
10	改善内容を踏まえた今後の方向性	2	1 拡大する	2 見直ししながら続ける	3 縮小する	4 廃止又は休止する	5 完了する	
		事業の目的達成や緊急対策の対応のため、事業の継続性が必要である。また、早期対策が図られるよう予算の確保及び従事者の増員が必要である。						
11	事業の内容(手法)	市内の水路全般において、水路改修や排水管の清掃など維持管理に努めながら排水機能を高め、浸水対策や環境の改善を図る。						
		平成30年度からの拡充・変更内容(予算措置を必要とするものに限る)						
12	指標の推移	名称(単位)	29年度 (総計目標値)	30年度 (見込み)	31年度 (見込み)	32年度 (見込み)		
	成果指標							
	活動指標	① 進捗率(整備箇所数/要整備箇所数)	100	100	100	100		
13	コストの推移(単位:千円)		(当初予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		
	歳出(直接事業費)(a)		103,451	106,451	103,451	103,451		
	歳入(b)	受益者負担額						
		国県補助金等その他						
	(a) - (b) = 一般財源		103,451	106,451	103,451	103,451		
14	増額理由	継続事業						
備 考								